

環境クリーン部長目標（令和6年度組織目標）

● 環境クリーン部長 安藤 善雄（あんどう よしお）



● 業務をもって貢献しているSDGsの主なゴール

- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 15 陸の豊かさを守ろう

● 環境クリーン部の仕事

環境クリーン部は、マチごとエコタウン推進課（ゼロカーボンシティ推進室）、環境対策課、生活環境課、みどり自然課、資源循環推進課（一般廃棄物最終処分場整備室）、東西クリーンセンター及び収集管理事務所の8課2室で構成され、地球温暖化対策、公害対策等の環境施策、生活環境の向上対策、みどりの保全・創出と廃棄物処理施策の推進を主な仕事としています。



● 環境クリーン部の目標

環境クリーン部は、「所沢市マチごとエコタウン推進計画」に掲げる将来像「“人と人”“人と自然”との絆で、子どもたちの未来を紡ぐエコタウン所沢」の実現を目指すとともに、2050年までに市域の温室効果ガス排出量実質ゼロを目指して各種施策を実施します。

○分野別基本方針

- ・【脱炭素社会の構築】 地域から地球環境を支え、持続可能な環境づくりに取り組みます。
- ・【みどり・生物多様性の保全】 人と自然の共生に向け、みどりの保全・創出に取り組みます。
- ・【循環型社会の形成】 循環型社会の形成に向け、ごみの減量・資源化に取り組みます。
- ・【大気・水環境等の保全】 健康で安心して暮らせる環境づくりに取り組みます。
- ・【魅力的な都市環境の創造】 魅力的でいつまでも住み続けたい環境づくりに取り組みます。

○横断的基本方針

分野別の取組みには各主体の関りが不可欠なため、協働・実践・学習を横断的な施策として、みんなで実践する環境づくりに取り組みます。

これらの取組みを通じて、「みどりあふれる持続可能なエコタウン」にしていきます。

● 目標達成に向けた重点事業

No.	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	公共施設太陽光発電設備設置事業	再生可能エネルギー創出及び電力使用に伴う二酸化炭素排出量の削減と公共施設のレジリエンス強化を目的に、複数の公共施設に対して太陽光発電設備と蓄電池を設置します。	民間の資金やノウハウを有効活用し、初期費用を抑え事業費の平準化を図るため、設計・施工・維持管理を含めた包括リース方式を採用し、早期実現を図ります。	公共施設への太陽光発電設備と蓄電池の設置に向けてリース契約を締結し、令和7年度中の発電開始を目指して設計を行いました。 【対象施設】松井まちづくりセンター、保健センター、収集管理事務所 ※3施設合計年間発電量（想定）：約170,000kWh
2	スマートハウス推進補助事業	再生可能エネルギーの導入や住宅の環境性能向上などの省エネ対策を行う際の経費の一部を補助します。	・補助制度の周知に努め、民生家庭・業務部門における更なる温室効果ガスの排出量削減を図ります。 ・家庭や事業所等に再生可能エネルギーの導入を推進します。 ・住宅のエコハウス化、エコリフォームの推進や蓄電池の導入、次世代自動車への転換等を推進します。	広報とろざわや市ホームページ等を活用した制度周知に努めたことで補助件数が増加し、さらなる温室効果ガス排出の削減や再生可能エネルギーの導入を促進しました。 【令和6年度実績】 創エネ・蓄エネ補助件数：805件（令和5年度：765件） エコリフォーム補助件数：839件（令和5年度：712件） CO2削減量：1757.4t-CO2（令和5年度：732.9t-CO2）
3	里山保全地域等指定整備事業	市内の貴重な緑地を保全し、所沢のみどりを次世代に継承するため、法令等に基づく緑地保全制度の指定や緑地の取得等を行います。	・特別緑地保全地区内や里山保全地域内の土地の取得（公有地化）を図ります。 ・市民緑地やふるさとの緑の景観地の土地の取得（公有地化）を図ります。 ・里山保全地域等の地域制緑地の指定を行い、生物多様性にも配慮したみどりの保全を図ります。	○特別緑地保全地区 ・くぬぎ山特別緑地保全地区 土地購入1,988㎡（指定面積 約16.6ha 公有地計 約5.1ha） ・北岩岡・下富特別緑地保全地区 土地購入2,021.77㎡（指定面積 約7.1ha 公有地計 約0.8ha） ○里山保全地域 ・三ヶ島一丁目里山保全地域 新規指定約2.6ha 寄附受入7,323㎡（公有地計 約1.0ha） ・三ヶ島二丁目里山保全地域 土地購入4,720.46㎡ 寄附受入626㎡（指定面積 約10.3ha 公有地計 約6.5ha） ・菩提樹池里山保全地域 区域拡大46㎡（拡大後面積 約5.2ha 公有地計 約1.8ha） ・上山口堀口天満天神社周辺里山保全地域 区域拡大616㎡（拡大後面積 約24.4ha 公有地計 約8.9ha） ・北野南二丁目里山保全地域 区域拡大3,861㎡（拡大後面積 約6.6ha 公有地計 約1.5ha） ○市民緑地 久米八幡越市民緑地 土地購入1,945.83㎡（指定面積 約1.6ha 公有地計 約0.9ha） ○ふるさとの緑の景観地 小手指ふるさとの緑の景観地 土地購入2,279.04㎡（指定面積 約10.9ha 公有地計 約0.8ha）
4	ごみ減量推進事業	ごみの排出を抑制するため、ごみ減量・資源化の取組みを進めます。	・家庭から排出される生ごみの減量を推進するため、生ごみ処理機の導入を推進します。 ・出前講座やSNSの活用などにより、3Rや正しい分別の啓発を推進し、ごみの排出抑制を図ります。	・家庭用の電気式生ごみ処理機やコンポスター等の購入に対して生ごみ減量化・資源化推進奨励金を交付（132基分）することにより、家庭でのごみ減量の取り組みを推進しごみの焼却量の削減を図りました。 ・ごみの減量や正しい分別、特にプラスチックや発火性危険物の分別について、まちづくりセンターなどで出前講座を実施しました（9回：参加者282人）。また、SNSでは食ロス削減レシピ等について発信しました。